

令和元年度

授業シラバス・年間指導計画

英語(2年)

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次			
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (R・普通科文系/ 理数科)		3	普通科 理数科	2			
履修形態	授業形態		指導者名					
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科					
教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication English II (教研出版)							
教科書以外の教材（発行所）	New Treasure English Series Stage 4 (Z会出版),							
目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。							
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようとする。 日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようとする。 日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようとする。 							
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。						
	範囲 (予定)	第1回	BIG DIPPER II: Lesson 7 New Treasure: Lesson 1, 2					
		第2回	BIG DIPPER II: Lesson 8, 9 New Treasure: Lesson 3, 4					
		第3回	BIG DIPPER II: Lesson 10, Reading New Treasure: Lesson 5, 6					
評価の観点・評価の方法	<p>○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○ 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>							
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。							

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前 期	4	NT L.1	Crossing the Alps by Rail	10	ゼメリング鉄道建設に関する論説を読む。
		NT L.2	The Hero Who Refused to Be a Hero	10	イレーナ・センドラーの半生を読む。
	5	B.D. L.7	The France Okaeshi Project	10	東北震災に際して、フランスが日本にしてくれた恩返しの概要を理解する。
		第1回考査			
	6	NT L.3	Different Styles of Encouragement	10	日米における励まし方の違いに関する英文を読む。
		NT L.4	Biodiversity – Nature in the Balance	11	屋久島の生物多様性の被害やその原因についての英文を読む。
	7	B.D. L.8	What Is the True Meaning of Mottainai?	11	世界中に広まった「もったいない」という言葉の本当の意味を理解し問い合わせます。
		B.D. L.9	Fair Play in Sports: What Is "Fair"?	10	スポーツで求められるフェアプレーの「フェア」とは何なのか。その概要を理解する。
		第2回考査			
	8	NT L.5	Curing – Chess on Ice	11	カーリングのルールや特徴に関する英文を読む。
後 期	9	NT L.6	Popularity Breeds Popularity	11	商品やサービスの実例を踏まえた経済に関する英文を読む。
		B.D. L.10	Floating Education	12	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
	10	B.D. Rd	Badger's Parting Gifts	11	愛する友人が亡くなった悲しみを思い出で癒し、乗り越えようとする仲間の物語。その概要を理解する。
		第3回考査			
		総時間数		117	

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次			
外国語	コミュニケーション英語II (R・普通科理系)		2	普通科	2			
履修形態	授業形態		指導者名					
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科					
教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication English II (教研出版)							
教科書以外の教材（発行所）	New Treasure English Series Stage 4 (Z会出版),							
目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。							
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 							
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。						
	範囲(予定)	第1回	BIG DIPPER II: Lesson 7 New Treasure: Lesson 1, 2					
		第2回	BIG DIPPER II: Lesson 8, 9 New Treasure: Lesson 3, 4					
		第3回	BIG DIPPER II: Lesson 10 Reading New Treasure: Lesson 5, 6					
評価の観点・評価の方法	<p>○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○ 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>							
先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語IIの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語IIではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。							

年間授業計画表							
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント		
前 期	4	NT L.1	Crossing the Alps by Rail	7	ゼメリング鉄道建設に関する論説を読む。		
		NT L.2	The Hero Who Refused to Be a Hero	7	イレーナ・センドラーの半生を読む。		
	5	B.D. L.7	The France Okaeshi Project	7	東北震災に際して、フランスが日本にしてくれた恩返しの概要を理解する。		
		第1回考査					
	6	NT L.3	Different Styles of Encouragement	7	日米における励まし方の違いに関する英文を読む。		
		NT L.4	Biodiversity – Nature in the Balance	7	屋久島の生物多様性の被害やその原因についての英文を読む。		
	7	B.D. L.8	What Is the True Meaning of Mottainai?	7	世界中に広まった「もったいない」という言葉の本当の意味を理解し問い合わせます。		
		B.D. L.9	Fair Play in Sports: What Is "Fair"?	7	スポーツで求められるフェアプレーの「フェア」とは何なのか。その概要を理解する。		
	第2回考査						
後 期	8	NT L.5	Curing – Chess on Ice	7	カーリングのルールや特徴に関する英文を読む。		
		NT L.6	Popularity Breeds Popularity	7	商品やサービスの実例を踏まえた経済に関する英文を読む。		
	9	B.D. L.10	Floating Education	7	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。		
		B.D. Rd	Badger's Parting Gifts	8	愛する友人が亡くなった悲しみを思い出で癒し、乗り越えようとする仲間の物語。その概要を理解する。		
第3回考査							
総時間数				78			

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次			
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R・普通科文系 / 理数科)		1	普通科 理数科	2			
履修形態	授業形態		指導者名					
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科					
教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication EnglishⅢ (教研出版)							
教科書以外の教材（発行所）	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 4 (Z会出版)							
目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。							
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようする。 							
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。						
	範囲 (予定)	第4回	BIG DIPPER III : Lesson 1 New Treasure 4 : Lesson 7, 8					
		年度末考査	BIG DIPPER III : Lesson 2 New Treasure 4 : Lesson 9, 10					
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 							
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまします。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。							

年間授業計画表						
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
後期	10	NT L7	Executed, But Not Proved Guilty	7	第1次世界大戦当時から今日に至るアメリカ合衆国における移民に対する偏見についての英文を読む。	
	11	NT L8	False Faces – Reversing Assumptions	7	エジソンやフォードの例から、従来の考え方には捕らわれない発想の大切さを説いた英文を読む。	
	BD. L1	The History of Ekiben		5	日本独特の食文化である駅弁の歴史や由来、発展について説かれた英文を読む。	
	第4回考査					
	1	NT L9	Pitfalls in Speech	7	コンピュータの会話と人間の発話の違いから、コミュニケーションにおいて必要な言葉の選び方について説いた英文を読む。	
	2	NT L10	The History of Maps	8	今日使われている地図の背景にある世界観や歴史について書かれた英文を読む。	
	BD. L2	Three Tips for Maintaining a Conversation		5	会話を上手に維持するための3つのコツと、社会生活を営む上で会話の大切さを英語で理解する。	
年度末考査						
総時間数				39		

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (R・普通科理系)		1	普通科	2
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER Communication English III (数研出版)
教科書以外の教材（発行所）	NEW TREASURE ENGLISH SERIES Stage 4 (Z会出版)

目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 		
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。	
	範囲 (予定)	第4回	BIG DIPPER III : Lesson 1 New Treasure 4 : Lesson 7, 8
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ○ 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○ 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 		
先生から アドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、ノートの取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。		

年間授業計画表						
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント	
後期	10	NT L7	Executed, But Not Proved Guilty	7	第1次世界大戦当時から今日に至るアメリカ合衆国における移民に対する偏見についての英文を読む。	
	11	NT L8	False Faces – Reversing Assumptions	7	エジソンやフォードの例から、従来の考え方に対する偏見についての英文を読む。	
	12	BD. L1	The History of Ekiben	5	日本独特の食文化である駅弁の歴史や由来、発展について説かれた英文を読む。	
	第4回考査					
	1	NT L9	Pitfalls in Speech	7	コンピュータの会話と人間の発話の違いから、コミュニケーションにおいて必要な言葉の選び方について説かれた英文を読む。	
	2	NT L10	The History of Maps	8	今日使われている地図の背景にある世界観や歴史について書かれた英文を読む。	
	BD. L2		Three Tips of Maintaining a Conversation	5	会話を上手に維持するための3つのコツと、社会生活を営む上で会話の大切さを英語で理解する。	
年度末考査						
総時間数			39			

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次					
外国語	英語表現スルーリーディング		1	普通科	2					
履修形態	授業形態		指導者名							
全	一斉授業		英語科							
教科書（発行所）	Speaking Gym Basic(数研出版) Jet Reading, Level 2(数研出版)									
教科書以外の教材（発行所）	配布プリント									
目標	英語の学習分野全体をバランスよく伸ばす。英文の内容を短時間に大まかにつかみ、全体の要旨を把握する力を育てる。幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的なコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。									
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに关心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 									
定期考査	出題方針	教材プリントなどから出題する。								
	範囲 (予定)	第1回	実施しない							
		第2回	Jet Reading Lesson 1~10							
		第3回	実施しない							
		第4回	Jet Reading Lesson 11~16							
		年度末考査	Jet Reading Lesson 17~22							
評価の観点・評価の方法	<p>○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○具体的な評価は、授業中の取り組み、ファイル提出、定期考査などを適切に活用して総合的に行う。</p>									
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	英語表現スルーリーディングの授業は、様々なテーマの英文を読んだり聞いたりし、その内容に関して、また、本文の表現を応用して、様々な表現活動（書く・話す）を行います。授業中の活動に積極的に参加しましょう。									

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前期	4	ガイダンス		2	
	5	Activity 1 Lesson 1 / 文化		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	6	Activity 2 Lesson 2 / 教育		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	7	Activity 3 Lesson 3 / 伝記		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	8	Activity 4 Lesson 4 / 生活		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	9	Activity 5 Lesson 5 / スポーツ		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	10	第2回考査			
	11	Activity 6 Lesson 6 / 生物		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	12	Activity 7 Lesson 7 / 社会		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	1	Activity 8 Lesson 8 / 国際理解		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
後期	2	Lesson 9 Lesson 9 / 宇宙		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	3	Activity 10 Lesson 10 / エッセイ		2	・英文を速読・精読し、内容を正確に読み取る。スピーキングの力を養う。
	4	Activity 11 Lesson 11 / 文化		3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	5	Lesson 12 / 環境			
	6	第4回考査			
	7	Activity 12 Lesson 13 / 物語		3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	8	Lesson 14 / 国際理解			
	9	Activity 13 Lesson 15 / 文化		3	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	10	Lesson 16 / 教育			
	11	Activity 14 Lesson 17 / 文明		4	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	12	Lesson 18 / 医療			
	13	Lesson 19 / 社会			
	14	Activity 20 Lesson 20 / 科学		4	・英文を読み、内容を短時間で把握し要約する。スピーキングの力を養う。
	15	Lesson 21 / 文化			
	16	Lesson 22 / 国際理解			
	17	年度末考査			
	18	総時間数	39		

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (L・普通科文系/ 理数科)		3	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態		指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業		英 語 科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER English Communication II (教研出版)		
教科書以外の教材（発行所）	BIG DIPPER English Communication II ワークブック (教研出版)		

目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに关心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解ができるようになる。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようになる。 		

定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。		
	範囲 (予定)	第1回	Lesson 8	
		第2回	Lesson 9 Acting Out	
		第3回	Lesson 10 Reading	

評価の観点・評価の方法	○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 ○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。			

先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。			
--	--	--	--	--

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通期	4,5	8	What Is the True Meaning of Mottainai?	22	「割り箸」「レジ袋」「再生紙」につき、常識と思われている考えについて考察し、客観的に考えることの重要性について考える。
	第1回考査				
	5,6	9	Fair Play in Sports: What is "Fair"?	24	スポーツにおける具体的な場面をもとに、フェアプレーかどうかについて考え、自分の意見を発表したり、相手と議論したりする。
	6,7	Acting Out	Crash	23	美術館で展示物のツボを割ってしまった高校生たちがとった行動および結末とは何か、物語の概要を理解する。
	第2回考査				
	7,8	10	Floating Education	23	パングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
	9,10	For Reading 2	Badger's Parting Gifts	25	愛する友人が亡くなった悲しみを、思い出で癒し、乗り越えようとする仲間たちの物語を読み深める。
第3回考査					
総時間数				117	

教科名	科目名（校内科目名）	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ (L・普通科理系)	2	普通科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書（発行所）	BIG DIPPER English Communication II (教研出版)
教科書以外の教材（発行所）	BIG DIPPER English Communication II ワークブック (教研出版)

目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。														
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解ができるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 														
定期考査	<table border="1"> <tr> <td>出題方針</td> <td colspan="2">教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。</td> </tr> <tr> <td>範囲 (予定)</td> <td>第1回</td> <td>Lesson 8</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第2回</td> <td>Lesson 9 Acting Out</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第3回</td> <td>Lesson 10 Reading</td> </tr> </table>			出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。		範囲 (予定)	第1回	Lesson 8		第2回	Lesson 9 Acting Out		第3回	Lesson 10 Reading
出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。														
範囲 (予定)	第1回	Lesson 8													
	第2回	Lesson 9 Acting Out													
	第3回	Lesson 10 Reading													
評価の観点・評価の方法	<p>○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>														
先生からアドバイス (予習・復習の方法、 授業の受け方、 ノートの取り方など)	2年次のコミュニケーション英語Ⅱの授業は、1年次で学習した内容を発展させたものになります。1年で学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅱではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。														

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通期	4,5	8	What Is the True Meaning of Mottainai?	15	「割り箸」「レジ袋」「再生紙」につき、常識と思われている考え方について考察し、客観的に考えることの重要性について考える。
	第1回考査				
	5,6	9	Fair Play in Sports: What is "Fair"?	16	スポーツにおける具体的な場面をもとに、フェアプレーかどうかについて考え、自分の意見を発表したり、相手と議論したりする。
	6,7	Acting Out	Crash	15	美術館で展示物のツボを割ってしまった高校生たちがとった行動および結末とは何か、物語の概要を理解する。
		第2回考査			
	7,8	10	Floating Education	15	バングラデシュの厳しい生活環境や教育を受ける権利の重要性を理解する。
	9,10	For Reading 2	Badger's Parting Gifts	17	愛する友人が亡くなった悲しみを、思い出で癒し、乗り越えようとする仲間たちの物語を読み深める。
		第3回考査			
	総時間数			78	

教科名	科目名(校内科目名)	単位数	科	履修年次
外国語	コミュニケーション英語Ⅲ (L・普通科文系/理数科)	1	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態	指導者名		
全	一斉授業・習熟度別授業	英語科		

教科書(発行所)	BIG DIPPER English Communication III (数研出版)
教科書以外の教材(発行所)	BIG DIPPER Communication III ワークブック (数研出版)

目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。			
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに关心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解できるようになる。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようになる。 			
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。		
	範囲(予定)	第4回	Lesson 1~6	
		年度末	Lesson 7~12	
評価の観点・評価の方法	<p>○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>			
先生からアドバイス(予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	コミュニケーション英語Ⅲの授業は、コミュニケーション英語Ⅱの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語Ⅱで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語Ⅲではわからないところが増えてしまいます。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。			

年間授業計画表							
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント		
通期	10	1	The History of Ekiben	3	日本独自の食文化である駅弁の歴史を学び、駅弁が発展した経緯を理解する。		
		2	Three Tips for Maintaining a Conversation	3	追加・列挙の表現をおさえながら、会話を続ける3つのテクニックを学ぶ。		
		3	Do You Judge People by Their Blood Types?	3	例示表現に着目し、なぜ人は血液型で人を判断するのかを学ぶ。		
	11	4	My Opinion of Zoos	3	討論でよく使う表現をおさえながら、対話形式の文章に慣れる。		
		5	The 55-Year Race	3	時間の流れに沿って展開する英文を読み、55年かかったマラソンレースに対する感想を述べる。		
		6	After the Flowers	3	タンポポ・オオバコ・スマレの生存戦略を読み取る。因果関係を表す表現を意識して英文を読む。		
第4回考査							
12	7	Online Word-of-Mouth		3	クチコミサイトに寄せられた複数の書き込みから、必要な情報を読み取る。		
	8	Kintsugi		3	対比表現に着目し、日本の伝統文化である金継ぎについて学ぶ。		
	9	Alfred Nobel: A Person of Peace		3	ノーベルのダイナミット発明、ノーベル賞創設の動機を読み取る。譲歩の表現を意識して英文を読む。		
	10	Art on Display		4	博物館案内から必要な情報を読み取る。スキヤニングを意識して英文を読む。		
1	11	Keys to Winning		4	プレッシャーに負けずに実力を発揮する方法を紹介。それらを実際に使用することで、成功への後押しになるといい。		
	12	She Sells Seashells by the Seashore		4	メリーランドの化石発見の経緯と世間に与えた影響に着目して英文を読む。英語の早口言葉を意識して英文を読む。		
年度末考査							
総時間数				39			

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次							
外国語	コミュニケーション英語III (L・普通科理系)		1	普通科	2							
履修形態	授業形態		指導者名									
全	一斉授業・習熟度別授業		英語科									
教科書（発行所）		BIG DIPPER English Communication III (教研出版)										
教科書以外の教材（発行所）		BIG DIPPER Communication III ワークブック (教研出版)										
目標	幅広い話題について、聞いたことや読んだことを理解し、情報や考えなどを英語で話したり書いたりして伝える能力をさらに伸ばすとともに、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育てる。											
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする態度を養う。 ・日常的な話題について、情報や考えなど伝えたいことを英語で話したり、書いたりして表現できるようにする。 ・日常的な話題について、英語を聞いたり読んだりして、情報や考えなど相手が伝えようとする理解ができるようにする。 ・日常的な話題についての英語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けるとともに、その背景にある文化などを理解できるようにする。 											
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。										
	範囲 (予定)	第4回 年度末	Lesson 1～6 Lesson 7～12									
評価の観点・評価の方法	<p>○評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。</p> <p>○具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。</p>											
先生からアドバイス (予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など)	コミュニケーション英語IIIの授業は、コミュニケーション英語IIの内容を発展させたものになります。コミュニケーション英語IIで学習した内容で理解できていないところがあるとコミュニケーション英語IIIではわからないところが増えてします。復習も必ず必要です。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。											

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
通期	10	1	The History of Ekiben	3	日本独自の食文化である駅弁の歴史を学び、駅弁が発展した経緯を理解する。
		2	Three Tips for Maintaining a Conversation	3	追加・列挙の表現をおさえながら、会話を続ける3つのテクニックを学ぶ。
		3	Do You Judge People by Their Blood Types?	3	例示表現に着目し、なぜ人は血液型で人を判断するのかを学ぶ。
	11	4	My Opinion of Zoos	3	討論でよく使う表現をおさえながら、対話形式の文章に慣れる。
		5	The 55-Year Race	3	時間の流れに沿って展開する英文を読み、55年かかったマラソンレースに対する感想を述べる。
		6	After the Flowers	3	タンポポ・オオバコ・スマレの生存戦略を読み取る。因果関係を表す表現を意識して英文を読む。
第4回考査					
12	7	Online Word-of-Mouth	3	クチコミサイトに寄せられた複数の書き込みから、必要な情報を読み取る。	
	8	Kintsugi	3	対比表現に着目し、日本の伝統文化である金継ぎについて学ぶ。	
	9	Alfred Nobel: A Person of Peace	3	ノーベルのダイナマイト発明、ノーベル賞創設の動機を読み取る。譲歩の表現を意識して英文を読む。	
	10	Art on Display	4	博物館案内から必要な情報を読み取る。スキヤニングを意識して英文を読む。	
1	11	Keys to Winning	4	プレッシャーに負けずに実力を発揮する方法を紹介。それらを実際に使用することで、成功への後押しになるとよい。	
	12	She Sells Seashells by the Seashore	4	メアリー・アーニングの化石発見の経緯と世間に与えた影響に着目して英文を読む。英語の早口言葉を意識して英文を読む。	
年度末考査					
総時間数					39

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	英語表現Ⅱ (R)		2	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態		指導者名		
全	習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)
教科書以外の教材（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK(啓林館) Simple Skills for English Writing(文英堂)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を伸ばす。											
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 											
定期考查	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。										
	範囲（予定）	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part1 GF⑤～Part 2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.1～2</td> </tr> <tr> <td>年度末考查</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～ Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part 3 L.3</td> </tr> </table>	第1回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2	第2回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5	第3回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8	第4回	Vision Quest English Expression II Hope Part1 GF⑤～Part 2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.1～2	年度末考查	Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～ Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part 3 L.3
第1回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2											
第2回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5											
第3回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8											
第4回	Vision Quest English Expression II Hope Part1 GF⑤～Part 2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.1～2											
年度末考查	Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～ Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part 3 L.3											
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考查を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 											
先生からアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など）	<p>必ず事前に予習をすること。その場合、当該レッスンの文型、文法事項、構文を利用して自分で英語を書いてくること。また、授業後は、例文を暗唱し、復習プリントに取り組むことで、既習事項の定着に努めること。基本例文の文型、文法事項、構文等をよく理解した上で、何度も音読みし、繰り返し書いて覚えましょう。ワークブックの問題にも丁寧に取り組み、着実に身につけて下さい。学習した表現を使って自分で文章を書いてみると、英文を書く力が養われます。挑戦しましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>											

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
	4	1	主語の決定	4	主語の決定／見えない主語の発見／主語の it 等
		2	名詞と冠詞	2	時制 状態動詞・動作動詞を用いた文
	5	3	動詞を決める①	2	自動詞と他動詞／SVO/SV0 SVC/SVOC
第1回 考査					
前期	4	動詞を決める②	4	使役動詞・知覚動詞の使い方,	
	6	時制の一致	4	主語と動詞の呼応・時制の一致	
	7	動詞の形を決める①	4	状況に応じて適切な時制や表現を選ぶ	
	7	動詞の形を決める②	2	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞	
第2回 考査					
後期	8	受動態	4	受動態と能動態、感情表現や被害の受動態	
	9	修飾語を加える①	4	関係代名詞／関係副詞	
	10	修飾語を加える②	4	副詞・副詞句	
	10	前置詞	4	前置詞の使い方	
	12	比較を表す	4	原級／比較級 最上級／最上級	
第3回 考査					
後期	11	否定表現	1	様々な否定の形と部分否定	
	14	Storytelling	2	絵に書かれた状況や出来事についての質問に英語で答え、ストーリーにまとめる	
	15	Role-Playing	2	電話の内容を要約し、メモを作成する。地図を見て会話文を完成する	
	12	Listening for Numbers	1	日付・サイズ・値段・電話番号などの数字を含む英語を聞き取る	
	17	Writing an email	4	設定された状況に応じたメールの書き方	
	18	Reading Graphs	4	様々なグラフを読み取り、英語での表現方法	
	1	パラグラフを書く①	4	パラグラフの構成／列挙・順序	
	2	パラグラフを書く②	4	例示・追加比較・対照	
第4回 考査					
年度末考査	3	パラグラフを書く③	2	比較・対照	
	4	パラグラフを書く④	2	原因・理由・結果	
	5	パラグラフを書く⑤	2	要点・要約	
	1	プレゼンテーション	4	プレゼンテーションの準備／発表と質疑応答／評価	
	5	ディスカッション	2	ディスカッションの進め方／評価	
	12	ディベート	2	ディベートの進め方／判定	
年度末考査					
総 時 間 数				78	

教科名	科目名（校内科目名）		単位数	科	履修年次
外国語	英語表現Ⅱ (L)		2	普通科 理数科	2
履修形態	授業形態		指導者名		
全	習熟度別授業		英語科		

教科書（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope (啓林館)
教科書以外の教材（発行所）	Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK(啓林館)

目標	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を伸ばす。											
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件に合わせて、即興で話す。また、伝えたい内容を整理して論理的に話す。 主題を決め、様々な種類の文章を書く。 聞いたり読んだりしたこと、学んだことや経験したことに基づき、情報や考えなどをまとめ、発表する。また、発表されたものを聞いて、質問したり意見を述べたりする。 多様な考え方ができる話題について、立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べ合う。 											
定期考査	出題方針	教科書の内容を中心に、副教材、問題集、教材プリントなどから出題する。										
	範囲（予定）	<table border="1"> <tr> <td>第1回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5. Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5</td> </tr> <tr> <td>第3回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8</td> </tr> <tr> <td>第4回</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 1 GF⑤～Part2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.2</td> </tr> <tr> <td>年度末考査</td> <td>Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part3 L.3</td> </tr> </table>	第1回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2	第2回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5. Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5	第3回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8	第4回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 GF⑤～Part2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.2	年度末考査	Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part3 L.3
第1回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.1～2 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.1～2											
第2回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.3～5. Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.3～5											
第3回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 L.6～8 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK L.6～8											
第4回	Vision Quest English Expression II Hope Part 1 GF⑤～Part2 L.1 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part1 GF⑤～Part2 L.2											
年度末考査	Vision Quest English Expression II Hope Part 2 L.3～Part3 L.3 Vision Quest English Expression II Hope NEW WORKBOOK Part2 L.3～Part3 L.3											
評価の観点・評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 評価の観点は、関心・意欲・態度、表現の能力、理解の能力、知識・理解の4項目とする。 具体的な評価は、定期考査を中心に、授業の中での考察、ノート、小テスト、課題提出などを適切に活用して総合的に行う。また、自己評価も必要に応じて取り入れる。 											
先生からアドバイス（予習・復習の方法、授業の受け方、ノートの取り方など）	<p>必ず事前に予習をすること。その場合、当該レッスンの文型、文法事項、構文を利用して自分で英語を書いてくること。また、授業後は、例文を暗唱し、復習プリントに取り組むことで、既習事項の定着に努めること。基本例文の文型、文法事項、構文等をよく理解した上で、何度も音読し、繰り返し書いて覚えましょう。ワークブックの問題にも丁寧に取り組み、着実に身につけて下さい。学習した表現を使って自分で文章を書いてみると、英文を書く力が養われます。挑戦しましょう。また、提出物は期限を守って下さい。そのためには、計画的な取り組みが必要です。</p>											

年間授業計画表					
学期	月	単元	学習内容	時数	学習のポイント
前	4	1	主語の決定	4	主語の決定／見えない主語の発見／主語のit等
		2	名詞と冠詞	2	時制 状態動詞・動作動詞を用いた文
	5	3	動詞を決める①	2	自動詞と他動詞/SVO/SVOC SVC/SVOC
第1回 考査					
期	4	動詞を決める②	4	使役動詞・知覚動詞の使い方、	
	6	5	時制の一致	4	主語と動詞の呼応・時制の一致
		6	動詞の形を決める①	4	状況に応じて適切な時制や表現を選ぶ
	7	7	動詞の形を決める②	2	義務・必要を表す助動詞／推量を表す助動詞
第2回 考査					
後	8	受動態	4	受動態と能動態、感情表現や被害の受動態	
	9	9	修飾語を加える①	4	関係代名詞／関係副詞
		10	修飾語を加える②	4	副詞・副詞句
	10	11	前置詞	4	前置詞の使い方
	12	比較を表す	4	原級／比較級 最上級／最上級	
第3回 考査					
期	11	13	否定表現	1	様々な否定の形と部分否定
		14	Storytelling	2	絵に書かれた状況や出来事についての質問に英語で答え、ストーリーにまとめる
		15	Role-Playing	2	電話の内容を要約し、メモを作成する。地図を見て会話文を完成する
	12	16	Listening for Numbers	1	日付・サイズ・値段・電話番号などの数字を含む英語を聞き取る
		17	Writing an email	4	設定された状況に応じたメールの書き方
		18	Reading Graphs	4	様々なグラフを読み取り、英語での表現方法
		1	パラグラフを書く①	4	パラグラフの構成／列挙・順序
	1	2	パラグラフを書く②	4	例示・追加比較・対照
第4回 考査					
後	3	パラグラフを書く③	2	比較・対照	
	4	パラグラフを書く④	2	原因・理由・結果	
	5	パラグラフを書く⑤	2	要点・要約	
	1	プレゼンテーション	4	プレゼンテーションの準備／発表と質疑応答／評価	
	5	ディスカッション	2	ディスカッションの進め方／評価	
	12	6	ディベート	2	ディベートの進め方／判定
年度末考査					
	総時間数			78	